

これまでに悪性腫瘍に対して治療中（全身化学療法、放射線療法、手術療法など）、または、治療後の患者さんへ 【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 産婦人科では「悪性腫瘍の臨床検体を用いた、ジェネティックおよびエピジェネティック解析」という研究を行っております。この研究は、悪性腫瘍において治療抵抗性に関する遺伝子を同定し、その機能と化学療法抵抗性に関する機序を明らかにすることを目的としています。そのため、過去に悪性腫瘍に対して治療中（全身化学療法、放射線療法、手術療法など）、または、治療後の患者さん患者さんの検体、カルテ等の治療データを使用させていただきます。

○この研究の対象となる患者さんは、卵巢高異型度漿液性腺癌の方で、西暦 2000 年 1 月 1 日から西暦 2020 年 8 月の間に順天堂大学医学部附属順天堂医院で悪性腫瘍に対して治療中（全身化学療法、放射線療法、手術療法など）、または、治療後の患者さんです。

- ・検体 : 腫瘍検体、非腫瘍検体、血液検体
- ・カルテ情報: 性別、年齢、家族歴、既往歴、個人歴（輸血歴、喫煙歴、飲酒歴）、組織型、病期、治療内容、治療効果、副作用、血液検査・血液生化学的検査・腫瘍マーカー値、切除標本の病理診断（大きさ、組織型、分化度、腫瘍の拡がり、浸潤・転移の程度）、予後

○この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- ・研究実施期間 倫理委員会承認日 ～ 西暦 2028 年 3 月 31 日まで
- ・研究責任者 寺尾 泰久

○過去の検体、データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

○この研究は、国立がん研究センター研究所の研究費によって実施しておりますので、外

部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

○上記の検体・診療情報等を共同研究実施のために下記機関に対して提供します。

〔主な提供方法〕 ☐直接手渡し ☒郵送・宅配 ☐電子的配信 ☐その他(〇〇)

・国立がん研究センター研究所 （研究責任者 濱田 哲暢）

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 産科・婦人科

電話：03-3813-3111

研究担当者：寺尾 泰久